



地域の方
手作りの店



野田会長



上内小児童合唱



来賓の皆様



白銀中吹奏楽



フラダンス

上内ふれあい

まち協
30号

発行責任者
上内校区
まちづくり協議会
会長
野田 卓朗

編集
上内校区
まちづくり協議会
広報部会
令和7年
10月15日発行

盛り上がった上内校区夏祭り

第九回上内校区夏祭りが九月二十七日。上内小学校グラウンドで開かれた。多くの人たちが来場し、アトラクションや出店を楽しんだ。

夏祭りは校区民が親睦と交流をすること、で、住み良い校区づくりを進めるのが目的で上内校区まちづくり協議会が主催。実行委員会を結成して開催に向けて取り組んできた。今回は十五の事業所が協賛、J Aみなみ筑後と農事組合法人上内による米釣り、地元の人々が趣味を活かした手作り品の販売、豪華景品が当たる抽選会もあり、盛り上がった。

まず、開会式があり、開会が宣言され、花火が打ち上げられた。主催者を代表して野田卓朗まち協会長が猛暑を避けるため、昨年よりも一か月ほど遅く開催したことなど説明しあいさつ。その後、来賓紹介で関好孝市長、光田茂市議会委員、谷本理佐教育長、平河良教育監が紹介され、関市長と光田議員があいさつ。

アトラクションは上内小児童たちの合唱、白銀中学校吹奏楽部演奏、吉野太鼓「無限」、小学生と女性によるフラダンス、エイサー真心「ちむくる」、マジックショーの披露、和太鼓で太鼓衆「響」の見事な演奏。

盛り上がったカラオケ大会の後に空くじなしの抽選会があった。

出店はキッチンカーが四台。コミセンの前では、かき氷、生ビール、ハイボール、唐揚げ、カレーライス、焼きそば、ジュース、おかし釣り、おもちゃくじなどがあり、来場者を楽しませた。



手作りカレーの店



PTAによるお店



吉野太鼓「無限」

商業施設や宿泊施設など 賑わい交流用地開発事業で立地

新大牟田駅
産業団地

大牟田市は新大牟田駅産業団地賑わい交流用地開発事業の募集要項を明らかにしている。新大牟田駅産業団地（八・一四〇）には製造業などの立地向けた「産業用地（四・四五〇）」とともに商業・サービス機能の充実に向けた「賑わい交流用地（二・六五〇）」を整備。賑わい交流用地は広域交流拠点としての立地環境を活かし、周辺地域の生活機能の充実、ビジネス・観光等の来街者の利便機能の向上、広域的なエリアからの新たな交流人口の拡大を図るため、商業施設（飲食・物販・サービス等）や宿泊施設などの立地を目指している。

所在地は大牟田市大字岩本、大字白銀の一部。全体面積は二六四一八・〇四㎡。E区画一五三〇五・〇四㎡、F区画二四七九・七四㎡、G区画八六三三・二六㎡、三区画一括購入が条件。地目は宅地。想定分譲価格は八億四百九十万円（一㎡当たり約三万四千七百七十円）。

募集要項の公告は令和八年三月三十一日まで。質問・提案を受付、審査委員会（プレゼンテーション）は令和八年四月下旬頃、審査結果通知（優先交渉権者の決定）は令和八年五月中旬頃、土地売買契約の締結は令和八年七月から翌月までに。



令和七年度上内校区教育力推進協議会（総会）が五月二十一日、上内小学校ふれあいホールで開かれた。事業計画案などを承認。幹事緊急連絡網やあいさつ運動及び防犯活動について確認した。

同協議会は上内校区の青少年健全を目指す、飛行防止に努めることを目的に、①青少年健全育成に関する学習及び啓発②青少年の問題行動などの情報交換③校区地域社会の環境浄化④必要に講じて巡回指導、その他（子ども見守り隊活動を通して、不審者から子どもを守る）の事業を行う。

青少年健全育成をめざす 教育力向上推進協議会

役員は会長一人、副会長二人、書記二人、会計二人で運営はまちづくり協議会役員、校区社協、民生児童委員、少年センター指導員、警察少年補導員、警察少年補導員倉永交番、上内小学校、同小PTA、PTA町内育成者の幹事で、事務局は上内小学校に置く。

活動計画は総会及び幹事会、あいさつ運動、交通安全運動、環境美化活動、啓発活動や補導活動・講演会等の活動、行事（学校・まち協・地域で子ども相撲とふれあい広場）など。

役員は次のとおり。

会長Ⅱ野田卓朗▽副会長Ⅱ古賀和信、高倉洋美▽書記Ⅱ井上知恵、大谷栄治▽会計Ⅱ境信剛、武末康子

危険水位規準値で警戒レベル



同ため池の危険水位規準値は堤頂一・五m。水位がこの基準値に到達し、引き続き水位上昇が見込まれる場合堤防の決壊につながるような大量の漏水や亀裂等が発見された場合が避難指示警戒レベル4。緊急安全確保警戒レベル5は水位が越水または越水の可能性が高くなった場合か、ため池の決壊が確認された場合堤頂から二・〇m程度で警戒レベル3（高齢者等避難）を発令するよう調整中。周知方法は緊急速報メール、SNS、愛情ねつとなど。

吉ヶ谷第一、二ため池ハザードマップにはため池が地震などで決壊した場合の浸水被害の範囲を想定、浸水の到達時間も記載されている。

高田方面

福岡県南筑後県土整備事務所は主要地方道南関大牟田北線の岩本交差点近辺のカラー舗装を行うと説明。工事は九月一日から十月十日までの十五日間程度を予定。夜間工事もある。この安全工事は新大牟田駅の入口付近からセブンイレブン大牟田上内店前までの区間、大牟田市街方向から岩本交差点へは左側二車線で、南関方面直進と高田方面左折に色分けする。これまで高田方面をそのまま、直進してJ Aやセブンイレブン前が一車線となることから南関方面の通行車の妨げとなる場合もあったため、安全を運転者に知らせる目的がある。

上内校区社協総会

上内校区社会福祉協議会（古賀和信会長）令和七年度総会が六月二十七日に上内小学校ふれあいホールで開かれた。役員改選や令和六年度事業計画案などが提案され、原案の通り承認された。

議事は令和六年度事業報告、同年度決算報告と会計監査報告、質疑応答の後に主任児童委員の桑原和子さんが六年度の上内校区民生児童委員・主任児童委員の活動を報告。役員改選、新役員紹介、七年度事業計画案、同年度予算案が提案され承認。

役員は次のとおり。会長⇨古賀和信▽副会長⇨野田卓朗、江崎正俊、境信剛▽会計⇨上原與礎一▽書記⇨木村由佳、武末康子▽募金会評議員⇨鳥越隆典



大牟田市愛の献血推協議会は七月九日、道の駅おおむたで、毎年恒例となっている上内校区での献血会を実施。十一人が会場を訪れ、九人が献血を行った。

この日は午前中に大牟田市瓦町の総合福祉センターで行われたことで、道の駅では午後二時から二時間実施。昨年は十三人が献血した。



まわしをつけて取り組み

子ども相撲とふれあい広場



代表児童による選手宣誓



おいしいカレーに行列が

第三十八回こども相撲とふれあい広場が五月二十五日、雨天模様だったことから上内小学校体育館で開かれた。児童たちが個人戦と東西に分かれての対抗戦で熱戦を展開。女子下学年、男子下学年、女子上学年は東組、男子上学年のみ西組が勝利。勝ち抜き戦は八人が三人勝ち抜きを達成した。同行事は町内公民館、社協、教育力向上協、民児協、体育部、上内小学校、同PTAで構成する上内校区まちづくり協議会が主催した。

行事は開会式で始まり、主催者あいさつや競技上の注意の後、六年生の二人が選手宣誓。取組は四年生以上の男子がまわし、一年生から三年生は男女とも簡易まわしをつけ、男女とも体操服着用だった。競技中には盛んな声援や拍手が起きていた。取組終了後にはカレーライスがふるまわれた。

四ケBが優勝

ペタンク大会 親睦プレー展開

上内校区まちづくり協議会が主催するペタンク大会が六月十五日、上内小学校体育館で開かれた。町内対抗で行われ、ハチムが参加してトーナメント方式で親睦プレーを展開。優勝したのは、湯谷、中尾のみなさんの四ケBだった。

試合は、二十五分間の時間制であり、四コートで試合し、勝ち抜きのトーナメントの他に、初戦敗者同士の順位決定戦も。参加者たちは和気あいあいとプレーを楽しんだ。

順位Ⅱ①四ケB②西B③岩本A④岩本B⑤東B⑥西A⑦東A⑧四ケA



四ケBの優勝メンバー



親睦を深めたプレー